

〔科目名〕 人事管理論Ⅱ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目
〔担当者〕 中川宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で掲示する 場所: 505	〔授業の方法〕 反転授業
〔科目の概要〕 この授業では、「人事管理論Ⅰ」の内容を踏まえて、現代企業の人事管理、雇用システムの重要な構成要素である労使関係の歴史と基本的な制度・概念について学びます。労働組合、労働運動の歴史とそれが現代の企業社会において果たしている機能や課題について基本的な事柄を学び、人事管理や企業経営についての理解を深めることを目指します。 授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。 授業方法は、事前の読書と授業内での作業を組み合わせた反転授業を行います。具体的には、授業の前に指定の章を読み、わかった部分をまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答・テスト等を通じて確認していきます。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 人事管理は経営管理の一分野ですが、労働時間や賃金といった事項を扱うことから、何らかの組織で働く人すべてにとって身近な科目です。また労使関係のあり方は、働く人の労働条件に影響を与えます。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ・大学レベルの教科書を正確に読み解くことができる。 ・労使関係、労働組合の基本的な制度や概念について内容を説明することができる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・大福帳などを活用し、出席管理を厳格に行っています。 ・LMS での資料の配布など、事前・事後の学修がしやすい工夫を行っています。		
〔教科書〕 木下武男, 2021, 『労働組合とは何か』岩波書店		
〔指定図書〕		
〔参考書〕		
〔前提科目〕 「人事管理論Ⅰ」を履修していることが望ましい。		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 毎回出席を取ります。事務局が認める「公欠」を除いて、4回以上欠席したものは不合格とします。 成績評価は、授業内での確認テスト約40%、期末テスト約60%、合計100点満点で行います。 詳細な評価方法は初回の授業で説明します。	
〔評価の基準及びスケール〕 学生便覧の評価基準に準拠します。 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:50点以上 F:50点未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。 これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。 授業内での作業に配慮が必要な場合は、教務を通じて相談してください。	
〔実務経歴〕	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。 やむを得ない事情で出席できなかったものは、出席した者に連絡を取り、自身で内容を確認すること。 教科書・指定図書 教科書 はじめに
第2回	テーマ(何を学ぶか): 第一章 歴史編1 ルーツを探る 内 容: 1 労働組合の遠祖・ギルドの原理 2 中世市民社会と日本でのその不在 教科書・指定図書 教科書 pp.2-16
第3回	テーマ(何を学ぶか): 第一章 歴史編1 ルーツを探る 内 容: 3 職人組合から労働組合へ 教科書・指定図書 教科書 pp.16-23
第4回	テーマ(何を学ぶか): 第二章 歴史編2 「団結せよ、そして勤勉であれ」 内 容: 1 近代市民社会の形成と論理 2 初期労働組合の形成 教科書・指定図書 教科書 pp.26-45
第5回	テーマ(何を学ぶか): 第二章 歴史編2 「団結せよ、そして勤勉であれ」 内 容: 3 産業革命と労働者の階級形成 4 職業別労働組合の確立 教科書・指定図書 教科書 pp.45-65
第6回	テーマ(何を学ぶか): 第三章 分析編1 労働組合の機能と方法 内 容: 1 労働組合とは何か 2 労働組合と政党 教科書・指定図書 教科書 第3章
第7回	テーマ(何を学ぶか): 第四章 歴史編3 よるべなき労働者たち 内 容: 1 新労働組合運動(ニュー・ユニオニズム)の台頭 教科書・指定図書 教科書 pp.80-90

第8回	テーマ(何を学ぶか):第四章 歴史編3 よるべなき労働者たち 内 容:2 一般労働組合の基盤と組合政策 3 労働組合の形態転換と労働政治 教科書・指定図書 教科書 pp.90-105
第9回	テーマ(何を学ぶか):第五章 歴史編4 アメリカの経験 内 容:1 労働運動の二つの潮流 2 職業別組合の限界と産業別組合の挫折 教科書・指定図書 教科書 pp.108-118
第10回	テーマ(何を学ぶか):第五章 歴史編4 アメリカの経験 内 容:3 労働者の企業別分断と産業別組合の対抗 教科書・指定図書 教科書 pp.119-131
第11回	テーマ(何を学ぶか):第六章 分析編2 いかにして社会を変えるのか 内 容: 1 産業化の新しい段階と産業別労働組合 2 労働組合機能の発展 3 産業別組合組織と産業別統一闘争 教科書・指定図書 教科書 pp.第6章
第12回	テーマ(何を学ぶか):第七章 歴史編5 日本の企業別労働組合 内 容:1 戦前第一期 2 戦前第二期 3 戦前第三期 教科書・指定図書 教科書 pp.156-172
第13回	テーマ(何を学ぶか):第七章 歴史編5 日本の企業別労働組合 内 容:4 戦後第一期 5 戦後第二期 6 戦後第三期 7 戦後第四期 教科書・指定図書 教科書 pp.172-205
第14回	テーマ(何を学ぶか):第八章 分析編3 内 容: 1 時代の転換と働く者の悲慘 2 日本における産業別労働組合の登場 教科書・指定図書 教科書 pp.208-250
第15回	テーマ(何を学ぶか):第八章 分析編3 内 容: 3 ユニオニズムの主役はどこにいるのか 4 ユニオニズムの創り方 教科書・指定図書 教科書 pp.250-278
試験	